

学校教育目標	「人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子」 ○互いを尊重しながら伝え合い、学びをつなげて物事を深く考える子どもを育てます。(知) ○自分を見つめ自分のよさに気づき、他者を思いやり、共によりよく生きる子どもを育てます。(徳) ○自他の生命と体を大切にし、自ら健やかな体をつくる子どもを育てます。(体) ○自分らしい夢や目標をもち、地域や社会のために自分ができることを考え行動し続ける子どもを育てます。(公) ○自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、共に分かり合おうとする子どもを育てます。(開)				
	創立 60 周年 児童生徒数: 611 人	学校長 高村 彰一	副校長 藤田 健太郎	2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 6
学校概要	主な関係校: 汐見台中学校・森中学校・浜小学校・山王台小学校・屏風浦小学校・森東小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	汐見台・森中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<探求心・問題解決力> ・問題を発見する力 ・試行錯誤する能力 ・協働的に解決策を見だし実行する能力 ・伝え合うことで考えを発展させる力	汐見台中学校 森中学校 浜小学校 山王台小学校 屏風浦小学校 森東小学校	自他の心を大切にし、主体的に考え行動する森・汐見台の子どもたち 「コミュニケーション能力の育成」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科領域においてテーマを意識した授業を展開する。小中合同授業研究会でお互いの授業を見合い、協議会でその手立てについてやコミュニケーション能力の育成を教育活動の中心に据えて各校が教育活動を展開してきたことが子どもの具体的な姿としてどのように表れているのかを話し合うことで教育活動を検証していく。

中期取組目標	○ひと、もの、まちのつながりを広げながら、子どもたちが探求心をもって学び、問題解決力を高められる学校を目指します。 ・子どもたちが学び合いながら自分の考えを深められる授業づくりを推進し、目的意識をもって学び続ける力を育てます。(知) ・深く多面的な児童理解と一貫した児童指導をチームで進め、自己有用感と規範意識を育てます。(徳) ・安全に関する指導と児童の運動量の確保を進め、健康な生活を実践する態度を育てます。(体) ・地域に目を向けた学習や様々な交流活動及び、福祉教育を通して社会に参画する姿勢と共生社会を形成する意識を育てます。(公・開) ・職員一人ひとりが自身のキャリアステージを自覚し、人材育成がチームの中で連鎖する有機的な組織づくりを推進します。(組織運営・人材育成)
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①「育てたい子ども像」を職員で共有し、めあての確認や課題の把握、振り返りなど、思考の流れが掴みやすい学習計画や授業展開を行っていくことで、子どもが自らよりよい考えの形成に向けて、学びを調整しながら探究していく力を高められるような支援のあり方を研究していく。②グループ活動や板書の工夫、ICTの活用などを通して、子ども同士がつながりながら協働的に問題を解決する力の育成を目指す。
徳	人権教育	①自分らしさについて考え自分の良さを発揮しようとする心や、自他の違いを認め、共に気持ちよく過ごそうとする心を育てる。②異学年交流や多文化理解、個別支援級理解を進め、自他の違いに気づき、相手を思いやる態度を育てる。③規範意識を大切にし、誰もが安心して過ごせる学校風土づくりにつなげる。④日々の学習の中で人権教育に取り組むことで児童の人権意識の高まりを目指す。
体	健康・安全	①健康診断や体力テストの結果を踏まえ、体育や運動タイムでは分析に基づいた活動を取り入れる。また、体を動かす楽しさやよさを感じ、日常的に運動に取り組む姿勢を身に付けていく。②体育委員会を中心として一校一実践「縄跳び」を取り上げ、定期的に学校全体で縄跳びを行う時間を作っていく。目標を決めて体を動かす機会を設定することで運動に取り組む態度を養う。
公開	地域連携	①探求心をもって考え方の異なる他者とかかわったり、地域に関する学習をしたりする中で、「主体的にかかわろうとする姿勢」「良さを発見する力」「多様性を尊重しようとする態度」「問いを見いだす力」の育成を行う。②福祉教育や生活科・社会科・総合的な学習の時間等を核として、自ら問いを見いだして地域の人、もの、ことと関わる中で、地域を大切にしようとする態度を養う。③地域コーディネーターと連携し、学校のニーズを元に学習支援などでの連携を図る。
いじめへの対応		いじめの未然防止、早期発見・早期解決の三段階において、いじめ防止対策委員会が中核となり情報の収集や記録、対応に関する役割分担をし、調査を行う判断や対応を行う。また、この委員会は児童指導部会と連携し、いじめ未然防止のための情報交換、子どもの実態把握に努める。年間を通じて複数回、記名式のいじめアンケートや全児童を対象に行う教育面談を未然防止、早期発見につなげていく。
人材育成・組織運営(働き方)		一人ひとりの能力が発揮できる場作り。全職員が自分の役割に自覚と責任、実行できる校内組織体制の整備を図る。管理職の方針の基、主幹教諭や関係部署の主任が中心となってリーダーシップを発揮し、指導力向上に関しては教科担当指導を有効に活用しながら人材育成を行い活気ある組織運営を行う。
担当	研究推進・評価部会	
担当	児童指導・人権部会	
担当	健康安全部会	
担当	教務部会	
担当	児童指導・人権部会	
担当	主幹教諭・教務	
担当		
担当		
担当		
担当		